

## 心理・健康ゼミナールⅡ

2 units (compulsory) 3rd-year(2nd semester)

tepei yukizane · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

**Target)** スポーツは今や生活のいたるところに存在し、身近なものになってきました。しかし、定期的・継続的にスポーツを行っている人は意外と少なく、また、女性や高齢者、障害を持った方々など対象によっては、その環境はもっと深刻です。スポーツを「みんなが楽しめる文化」として普及・振興していくために何が必要なのか。このゼミでは、スポーツの供給側(スポーツ行政、学校運動部活動、公共スポーツ施設、民間スポーツ施設、スポーツ指導者など)や、需要側(住民、生徒・児童、会員、高齢者、障害者など)に関わる様々な問題点を考え、それを解決していく方策を検討していきます。

**Outline)** スポーツに関わる諸問題に対し、スポーツ経営学的視点をよりどころに、理論と実践を通して、そのアプローチを自分自身で考え、解決する能力を身につける。その成果は、卒業論文としてまとめる。

**Keyword)** スポーツマネジメント、スポーツの普及振興

**Fundamental Lecture)** “スポーツマネジメント論”(1.0), “レジャーマーケティング論”(1.0), “スポーツ社会学”(1.0)

**Notice)** 前期開講の「心理・健康ゼミナールⅠ」を履修しておくこと。

**Goal)**

1. スポーツの普及・振興に関する問題の把握(テーマ設定)
2. 各自、興味関心のあるテーマに関する文献収集(先行研究の収集)
3. 社会調査に関する知識とデータ分析方法の習得(分析技術の習得)
4. 卒論テーマに即した調査実施、及びプレゼンテーション(実践・分析・発表)

**Schedule)**

1. 質的(インタビュー)調査の計画 1
2. ” 2
3. 質的(インタビュー)調査の実施
4. 質的(インタビュー)調査の分析 1
5. ” 2
6. ” 3
7. 質的(インタビュー)調査のまとめ
8. 量的(アンケート)調査の計画 1
9. ” 2
10. ” 3
11. 量的(アンケート)調査の実施
12. 量的(アンケート)調査の分析 1

13. ” 2

14. ” 3

15. 量的(アンケート)調査のまとめ

16. プレゼンテーション

**Evaluation Criteria)** 評価方法は「出席 50%」「態度 20%」「プレゼンテーション 30%」といった3視点での総合評価。

**Re-evaluation)** なし

**Textbook)** なし。各自の問題意識に応じた文献を適宜紹介していく。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220195>

**Contact)**

⇒ yukizane (sport management laboratory, +81-88-656-7286, yukizane@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週木曜日夕方)